

今回の勉強会で何が印象に残りましたか？

私は「記事は人間性を書く」という言葉が印象に残っています。新聞を読んだことしかなく、書いた経験がない状態の私は、自分が書きたいと思うことばかりを意識していましたが、取材対象の人を記事にするということの重大さに身が引き締まる思いです。

私が今回勉強会で印象に残ったのは記者というのは人間を書くという言葉です。理由として一見、記事というのは事実しか書いていないと思われがちですが、インタビュー記事などではその人の熱意や思い、人間性が文章を通して読者に伝える部分があると考えます。また、記事は読者にその記事のインタビュアーの体験を疑似体験させる力があると勉強会を通じて思いました。

自分達が萎縮しないように三好さんがジョークを織り交ぜて場を和ませてくれたこと

多くの知識を学べたと感じました。まず、一本の記事ができあがるまでの流れについて学びました。次に、それぞれの段階で注意すべき点についても学ぶことができました。

人と人が作っているのだということ

取材の具体的なやり方

- ・新聞に網羅性という特徴があること
- ・自分が何を書きたいかについて自由に話し合ったこと

記者として大切な要素

記者は内容の要約が大事ということについて、Mrs.GreenAppleのダーリンを用いて教えてくださったところ

カメラの画角が上から撮るか、下から撮るかであんなに印象が変わるなんて知らなかったのでよい勉強になった。

取材するときのマナーと新聞の構成

レイアウトの話とラグビー選手へのインタビューの話

実際に新聞がどのようにつくられているかを見て、新聞づくりは常に時間との勝負なんだなと強く感じた。その中でも、情報の正確さを担保しなければならないのだから、新聞記者というのは非常に大変な仕事だと思った。

歌詞の要約

取材や記事には正確さや豊かさはもちろんのこと、敬意やエールが必要であるということはとても印象に残りました。また、水性ペンは使わないということはきちんと覚えました。

インタビューする前の心構えと事前準備

記事の写真の撮り方

記事を書く上で大事なこと

取材の仕方と、メモの取り方が印象に残りました。

インタビュー時の質問の量の話が印象に残りました。3個というのは想像よりはるかに少なく、その質問から会話や派生的な質問へ広げる力も大切だなと思いました。

取材する時の心構えやスポーツ取材だった場合の現場の雰囲気のメモを取った方が良いということなど実際に現場で働いていた方だからこそそのアドバイスが印象に残った。

三好さんの人物像